

観光ガイドのお問合せ先(要予約)	
うすきタウンツーリズム研究会	【申込み先】TEL.0972-62-8138／携帯.080-3184-5561 FAX.0972-62-8138 【案内地域】臼杵城下町観光ガイド／臼杵城址ガイド 古地図で町並みガイド 【料金】有料
うすき町並みガイドの会 会長 石崎 達雄	【申込み先】TEL.0972-63-7898／FAX.0972-63-7898 【案内地域】町並み散策エリア／二王座歴史の道／臼杵城跡 等 【料金】有料
臼杵石仏ボランティアガイドの会	【申込み先】臼杵石仏事務所 TEL.0972-65-3300 【案内地域】臼杵石仏 【料金】無料

※ガイドさんの説明を聞きながら一緒に散策もできます！
詳しくは上記の番号へお問い合わせください♪

臼杵の方言

臼杵や大分の言葉は、強くキツイイメージがあります。
女性でも「〇〇がないよ」のことを「〇〇がねえよ」というような方言を良く使いますが、決して乱暴な言葉を行っているわけではなく臼杵または大分独特の親しみがこもっています。
しかしイントネーションは標準語とほぼ同じで、隣県の福岡、宮崎、熊本などと比べてみても違いが良く分かります。
臼杵は海に面しており、古くから瀬戸内海沿岸地域との交流が盛んに行われていました。
多種多様な言葉が入り混じった結果、標準語のイントネーションになったと思われます。
方言のいいところは、何と言っても親しみが沸くこと！さらに標準語にはない表現がたくさんあります。
臼杵の方言をマスターして、色んな人にはなしかけてみませんか？

臼杵弁講座～桜まつり編～



公園地ん桜もぼちぼち咲き出したごたんなあ。
臼杵公園の桜もそろそろ咲き始めたようですね。

ほんとなあ。今年もお花見しようえ！いつ頃がいいな？
本当ですね。今年もお花見をしましょう。いつにしましょうか？



みんなにうちみるわん。
それか8日が見頃ちゅうけん、8日にしようえ！
みんなに聞いてみます。8日が見頃らしいので、8日にしましょう！

場所はどげーすんな？人が少なえけん、すまくらでいいなあ。
桜が見ゆる所にゴザ敷こうえ。
場所はどうしましょうか？人数が少ないので隅の方でいいですね。
桜が良く見える所にゴザを敷きましょう。

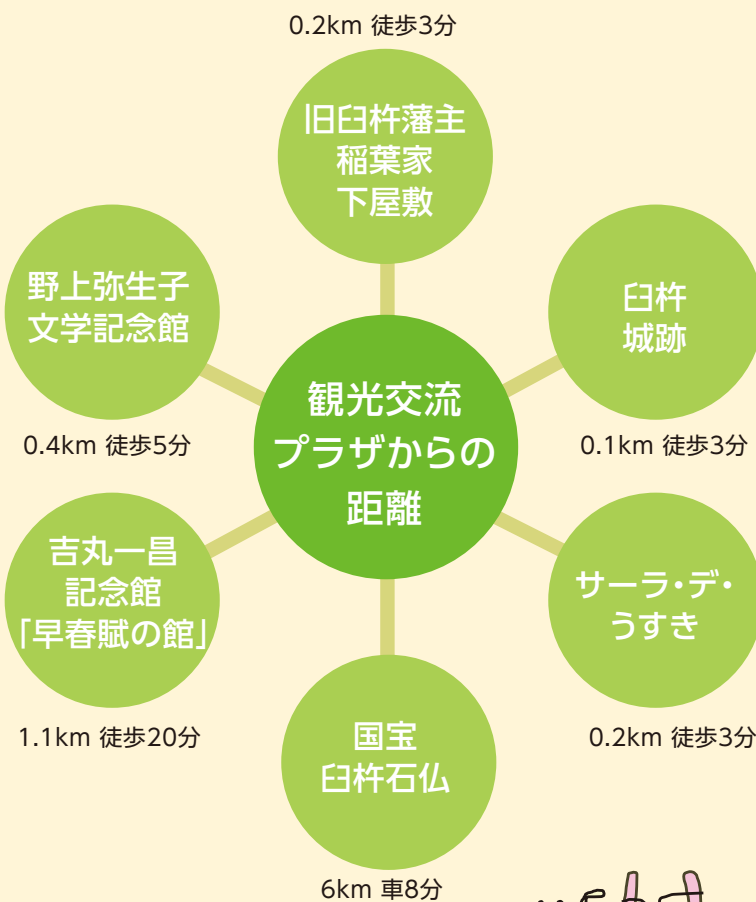


各施設料金表

施設名	TEL	料 金
臼杵市歴史資料館(火曜日休館)	0972-62-2882	大人(高校生以上) 330円 小人(小中学生) 160円
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	0972-62-3399	大人(高校生以上) 330円 小人(小中学生) 160円
野上弥生子文学記念館	0972-63-4803	大人(高校生以上) 310円 小人(小中学生) 150円
吉丸一昌文学記念館『早春賦の館』	0972-63-7999	大人(高校生以上) 220円 小人(小中学生) 110円
国宝 臼杵石仏	0972-65-3300	大人(高校生以上) 550円 小人(小中学生) 270円
風連鍾乳洞	0974-32-2547	大人(高校生以上) 1,000円 小人(小中学生) 700円

お得な共通券あります！

4施設共通券	国宝臼杵石仏、旧臼杵藩主稲葉家下屋敷、 野上弥生子文学記念館、吉丸一昌記念館	大人(高校生以上) 1,140円 小人(小中学生) 560円
2施設共通券	国宝臼杵石仏 旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	大人(高校生以上) 710円 小人(小中学生) 350円



お問い合わせ先

臼杵市観光交流プラザ TEL.0972-63-1715
FAX.0972-63-5388

イイナイコウ

2019.10.10000

臼杵の歴史 満喫コース



距離:2.8km 所要時間:2時間40分

うすきあるき MAP

臼杵の主要観光スポットばかりを詰め込んだよくばりコースです。
移動距離が少し長く、臼杵の文化や歴史をじっくり知りたい方や
お時間に余裕のある方にオススメです。



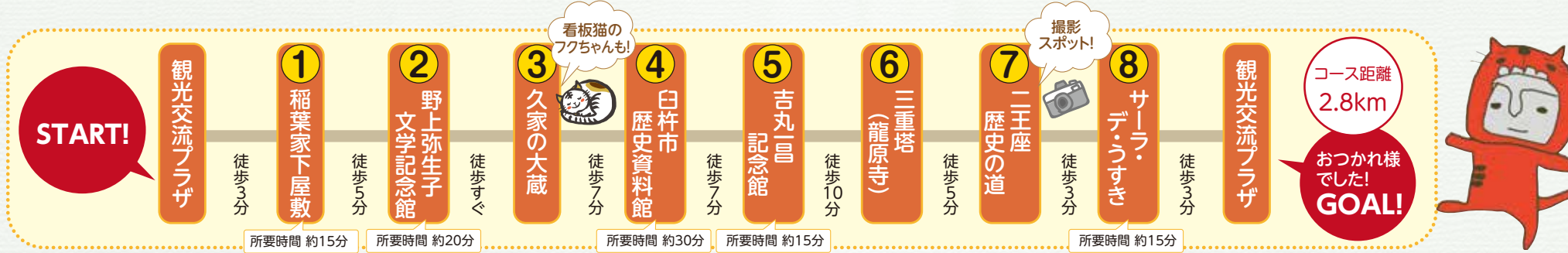
うすきあるきとは？

マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに
色々なところで立ち止まりながら臼杵の町歩きを楽しむ
コースです。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間

臼杵の歴史満喫コース



観光交流プラザ スタート

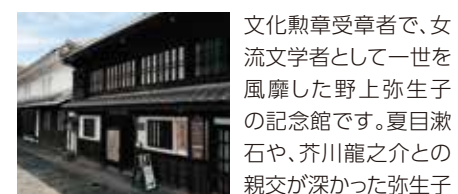
1 稲葉家下屋敷



旧臼杵藩主稲葉家が帰郷の際の屋敷として明治35年に町の有志により建てられました。薬医門、千鳥破風の屋根、式台玄関、書院造りなど、江戸時代末期の上級武家屋敷の建築様式を色濃くとどめています。広々とした庭園からは、殿様の住まいらしい壮麗で風格のある屋敷の姿を目にする事が出来ます。稲葉家下屋敷は平成20年、国の登録有形文化財に登録されました。

入館料：大人330円 小人160円

2 野上弥生子文学記念館



文化勲章受章者で、女流文学者として一世を風靡した野上弥生子の記念館です。夏目漱石や、芥川龍之介との親交が深かった弥生子の遺品200点あまりが展示されており、少女時代の勉強部屋なども見学することができます。同建物の小手川商店は弥生子の生家であり、安政2年から続く酒屋として今もお製造・販売を続けています。

入館料：大人310円 小人150円

3 久家の大蔵



江戸時代後期に建てられたこの酒蔵には、臼杵市がポルトガルのロジェリオ・リバイロ氏に依頼したアズレージョ(装飾タイル壁画)が施されています。外壁画は、大友宗麟時代の臼杵とポルトガルとの歴史の経緯が描かれており、屋内のアズレージョはカトリック教の洗礼を表現したもので、外壁には戦国大名大友宗麟が洗礼をうけているモチーフがあります。

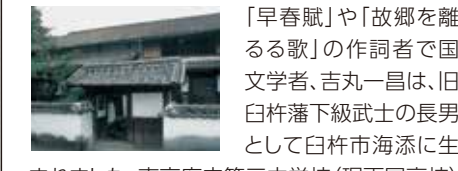
4 臼杵市歴史資料館



臼杵市が所蔵する貴重な歴史資料約3万5千点を中心に展示しています。近世絵図資料群(県指定有形文化財)など、全国でも極めて貴重な資料を観ることができます。また、臼杵市の所蔵資料の中には、ローマにもその名を知られたキリシタン大名・大友宗麟や、織田信長の重臣にして初代臼杵藩主の父、稲葉一鉄に関する資料などもあります。子どもから大人まで、楽しみながら臼杵の歴史に触れることができます。

入館料：一般330円 学生160円
休館日：火曜日

5 吉丸一昌記念館



「早春賦」や「故郷を離るる歌」の作者で国文学者、吉丸一昌は、旧臼杵藩下級武士の長男として臼杵市海添に生まれました。東京府立第三中学校(現両国高校)の教諭時代には芥川龍之介を教え、明治41年には東京音楽学校(現東京芸大)の教授となり、中山晋平や山田耕作など多くの音楽家を育てました。夫人の実家に建てられた記念館には一昌の遺品や楽譜などゆかりの品々を展示しています。

入館料：大人220円 小人110円

6 三重塔(龍原寺)



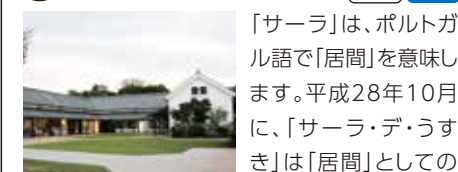
龍原寺の塔は九州に2つしかない江戸期に建立された木造の三重の塔です。臼杵の名工、高橋団内が設計し、10年の歳月を費やして施工されたもので、安政5年(1858年)に竣工しました。塔には聖徳太子が祀られており、太子塔とも呼ばれています。塔の四隅を邪鬼が支える彫像も必見です。

7 二王座歴史の道



大友宗麟時代から街道筋として役割を果たした道です。江戸時代には、武家住宅と寺院とが混在する景観をつくり出していました。この地区は臼杵を代表する景観の一つで、平成5年には国の都市景観100選に選ばれました。また、臼杵の歴史と文化を伝える「歩く歴史博物館」ともいわれています。二王座は約9万年前の阿蘇噴火で形成された阿蘇溶結凝灰岩の丘です。街道筋を確保するため、あちこちに凝灰岩を切り割ってつくられた「切通し」の道があります。

8 サラ・デ・うすき



「サラ」は、ポルトガル語で「居間」を意味します。平成28年10月に、「サラ・デ・うすき」は「居間」としての「憩い」「集い」に加えて、「臼杵の台所」としての「食の情報発信・継承」「チャレンジ」をテーマとした施設にリニューアルしました。四季折々の旬の野菜・地魚・郷土料理を味わい、臼杵の食の魅力を感じてください。

観光交流プラザ ゴール!!